

日建協ビジョン2030

誰もがいつまでも働ける 誰からも誇りに思われる産業

わたしたちが目指すべき姿

誰もが、やりがいと将来への希望をもち、安心して働き続けられる産業でありたい。
大切な家族や友人をはじめ、すべての人たちから誇りに思ってもらえる産業でありたい。

その先に、産業の健全で持続的な発展があります。

これからも人々の暮らしを支え続けるために。

そして、すべての人のハッピーな未来のために。

誰もがいつまでも働ける

人々の安心安全な「生活の場」を支えること、これは私たちの普遍的使命です。そのために、私たちは日々地球と向き合い、自然と対峙しています。この使命は、これからも決して変わることはありません。なぜなら、私たちは、この使命の先に、私たちを含む**すべての人の幸せな生活**があると考えているからです。

その使命を全うするためには、関係するすべての人が**将来への希望**を持ち、**安心して働き続けられる環境**が必要です。その先に産業の健全で持続的な発展があります。

私たちは、誰もが働ける環境を整えるにとどまらず、**いつまでも働ける、働きたいと思える環境が実現できている産業**を目指します。



誰からも誇りに思われる産業

私たちの仕事は、地図に残るダイナミックさがあり、様々な人たちが協働して、一つのものを作り上げていく醍醐味があります。そして、**社会を支えているという誇りとロマン**あふれるものだと考えています。

しかし、忙しさや大変さから、それを感じられない状況に置かれてしまっている人がいたり、建設産業へのマイナスイメージが先行し、そうした魅力に気づいてもらえていない状況があります。

2030年にむけ、建設産業は、私たち自身が胸を張り、誇れる産業になりたい。そのために、私たちは、一丸となって高いモラルのもと、**社会に貢献し、評価される仕事**をしていきます。そして、私たちの仕事を通じて、**全世界の誰からも、誇りに思ってもらえるような産業**を目指します。

ビジョンに込めた思い

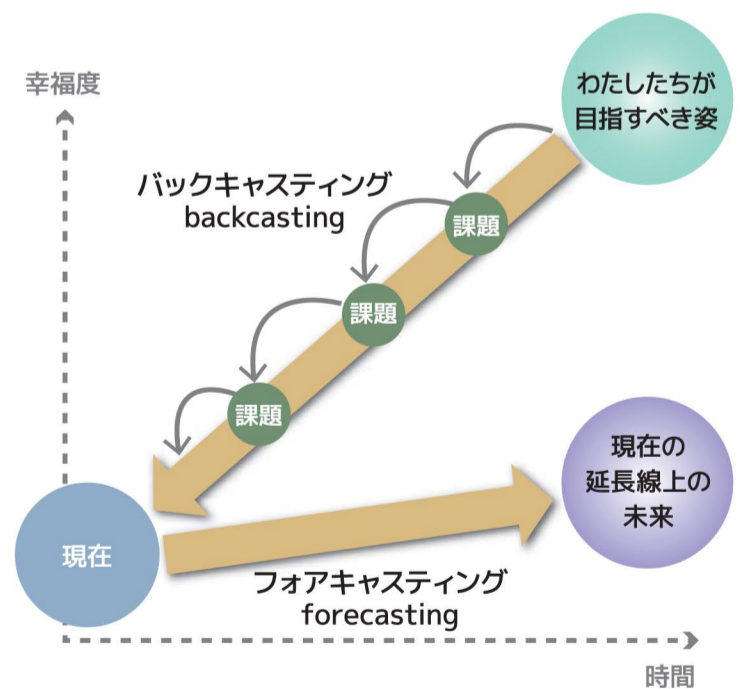
私たちが「建設産業のありたい姿、あるべき姿」を語り合い、議論する中で見えてきたこと、それは建設産業で働く人たちが、**この産業に「誇り」を抱いている**、ということです。

一方で、他産業と比較して長時間労働であり、週休2日が当たり前ではないなど、労働環境の改善が立ち遅れています。

また、建設産業に対する3K(きつい、汚い、危険)やコンプライアンスの問題を抱えているのではないかとといったマイナスイメージが根強くあり、建設産業で働く者が抱えている自負心とは裏腹に、社会的評価が低いという**じくじ**たる思いを抱え続けている実態があらためて浮き彫りとなりました。

私たち労働組合は、座して嘆くために存在するものではありません。未来志向で行動し、次の時代を創造するために存在するのです。その意義を確認し合うとともに、私たちのありたい未来を描き、ともに取り組みでいくための**羅針盤(Compass)**となるものが**日建協ビジョン2030**です。

10年後の未来を起点にバックキャスティング(未来から逆算)し、**私たち一人ひとりがビジョンを伝えるインフルエンサー**となって、建設産業に**新たな「うねり」**を起こしていきます。



日建協 35加盟組合

青木あすなろ建設職員組合
浅沼組職員組合
安藤・間職員組合
奥村組職員組合
鴻池組労働組合

五洋建設労働組合
佐藤工業職員組合
佐藤秀労働組合
シミズユニオン
鈴与三和グループ労働組合

銭高組労働組合
大鉄工業労働組合
大日本土木労働組合
大豊建設労働組合
鉄建建設職員組合

東鉄工業労働組合
東洋建設職員労働組合
戸田建設職員組合
飛鳥建設労働組合
中山組職員労働組合

西松建設職員組合
日本国土開発コミュニケーション協議会
日本総合住生活労働組合
野村労働組合
ピーエス三菱労働組合

フジタ職員組合
松村組職員組合
馬淵建設職員組合
丸彦渡辺建設職員組合
三井住友建設社員組合

宮地建設工業労働組合
名工建設職員組合
森本組労働組合
横河ブリッジ労働組合
りんかい日産建設職員組合



日本建設産業職員労働組合協議会(日建協)
www.nikkenkyo.jp

